

No.	盛土箇所 番号	造成地名 (団地名)	第一次スクリーニング								大規模盛土造成地の種類	東日本 大震災後の 対策の有無	第二次スクリーニング計画																						対応 案
			盛土造成地の規模			大規模盛土造成地の抽出							優先度評価																						
			面積 (㎡)	原地盤面の 勾配 (度)		高さ (m)	面積 3000㎡ 以上	谷埋め型		大規模盛土造成地の種類			①盛土/擁壁の形状・構造										②変状					③造成年代			④変動確率 方式1 による 変動確 率 (%)	特記事項	想定 被害 形態	優先 度	
				α	θ			面積 3000㎡ 以上	谷埋め型				大規模盛土造成地の種類	のり 面 勾配	ひな 壇 部分 の 構造	擁 壁 構造	宅 地 地 盤	擁 壁	のり 面	周 辺 施 設	③地 下 水	盛土の下の 不安定土層	造成年代												
1	1	上郡山地区 (松ヶ丘)	47,014	5.4	5.5	16.5	○	×	谷埋め型	対策なし	標準	標準	標準	標準	標準	標準	該当	なし	なし	なし	なし	なし	不明	S55～S60	後	10	小	震災以降、変状の進行やその他の変状は認められなかった。	変形	C	経過観察				
2	2	グリーンタウン白石 (虎子沢山)	63,787	4.1	3.9	26.8	○	×	谷埋め型	対策済み	標準	標準	標準	標準	標準	標準	該当	なし	なし	なし	なし	なし	不明	H4～H7	後	5	小	震災以降の変状の進行やその他の変状は認められなかった。	変形	C	経過観察				
3	3-1	寿山第4団地 (緑ヶ丘)	79,648	7.4	7.2	38.1	○	×	谷埋め型	対策済み	標準	標準	標準	標準	標準	標準	該当	なし	なし	なし	なし	なし	不明	S46～S53	前	65	大	震災で影響を受けた亀裂が擁壁や宅地地盤が現在も存在。	崩壊	C	経過観察				
4	3-2		5,089	14.2	15.5	17.3	○	×	谷埋め型	対策済み	標準	標準	標準	標準	標準	標準	該当	なし	なし	なし	なし	なし	不明	S46～S53	前	3	小	対策後、変状の進行やその他の変状や湧水等は認められなかった。	崩壊	C	経過観察				
5	3-3		67,905	8.0	8.3	38.9	○	×	谷埋め型	対策済み	標準	標準	標準	標準	標準	標準	該当	なし	なし	なし	なし	なし	不明	S46～S53	前	13	小	対策工事後、変状の進行やその他の変状は認められない。	崩壊	C	経過観察				
6	4-1	若林団地	3,326	14.7	16.6	8.3	○	×	谷埋め型	対策なし	標準	標準	標準	標準	-	標準	該当	なし	変形	なし	変形	あり	なし		S58～S59	後	1	小	法面存在部で極若干の沈下と変形。擁壁端部で侵食・崩壊発生	擁壁	A4	経過観察			
7	4-2		232	20.6	18.4	3.2	×	×	谷埋め型	対策なし	標準	標準	標準	標準	-	標準	該当	なし	なし	なし	なし	なし	不明	S58～S59	後	0	小	狭い範囲の盛土。特に変状は認められなかった。	擁壁	C	経過観察				
8	4-3		21,617	4.3	6	20	○	×	谷埋め型	対策なし	標準	標準	標準	標準	標準	標準	該当	なし	変形	なし	沈下	あり	なし		S58～S59	後	13	小	盛土末端の大型ブロック積が押し出し変形し、道路も極若干の沈下。	崩壊	B2	経過観察			
9	5	第二城南地区	11,317	10.0	10.4	11.5	○	×	谷埋め型	対策済み	標準	標準	標準	標準	標準	標準	該当	なし	なし	なし	なし	なし	不明	S62～H5	後	7	小	湧水がのり面末端部のみで認められ、適切に排水が流出していると判断	崩壊	C	経過観察				